

	不定形耐火物	施工方法 アサヒプラスト
--	--------	-----------------

1、施工

炉壁、炉床等に使用する場合、1枚ごとに鉄製片手ハンマーあるいはエアランマー、電動ランマー等で前面を均等にたたき密着させ、さらに積上げていきます。積み終われば、コテで余分の表面を切り取り、所定の高さにし、50~100mm間隔に深さ約100mm径約5mmの孔をあけ乾燥の助けとするとともに、1mごとに深さ約40mm、幅約5mmのミジをつくり膨張収縮にそなえます。また天井、アーチ、バーナーブロック等をつくる場合には木枠を組んだあと、アサヒプラストをたたき込みます。

2、補強材

アサヒプラストを、炉壁等広い面積にもちいる場合、耐熱鋼製、あるいは耐火物製のアンカーを用います。

3、加熱乾燥

小面積の補修では、施工後の養生が不要で、できるだけ早く加熱乾燥に入ってください。もしただちに加熱乾燥に入ることができない場合、変形を起さないようにパネルなどで保持し、自然乾燥の状態にします。また、バーナー壁、あるいは天井部など大きな施工体では、施工後その大きさにより、3~15日ほど自然乾燥し、スコアラインの収縮を目字詰めしたあと、加熱乾燥してください。加熱速度は、1時間25~50°Cで900°Cまで、100°Cおよび900°Cで数時間保持するなど、徐々に温度を上昇させたあと、使用温度以上に加熱してください。

4、保存

アサヒプラストは、数ヵ月保存できるように製造してありますが、練土状ですから、乾燥をさけるため密封して涼しい場所においてください。もし乾燥した場合、適量の水を加え、練りなおして使用してください。この場合、水はなるべく少量とし、均一にいきわたるようにしてください。